

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス さくっこ

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

22 日

| | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|-------|------|---------|---------|---|--|
| 法人（事業所）理念 | | 障害児が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適應ができるよう障害児の身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて適切で効果的な指導・訓練を行います。 | | | | | | |
| 支援方針 | | 家庭や学校とは別に安全で安心でき落ち着いて過ごせる居場所づくりに努め、個々に寄り添いながら日々の「育つ力」を助けていきます。 就学児は学校課題や手作り工作等を、未就学児には手作り知育玩具等を使った療育をいたします。 | | | | | | |
| 営業時間 | | 9 時 | 0 分から | 18 時 | 0 分まで | 送迎実施の有無 | あり | |
| | | 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ※個々の健康状態を把握し異常がある場合には適正に対処します。 ※基本的な生活スキルを身につけられる様に自分で身支度や管理が出来る様に支援し身辺自立を目指します。 ※事業所菜園で野菜を育て食に対する関心を育み、好き嫌いを減らすなど食育支援をします。 | | | | | | |
| | 運動・感覚 | ※いろいろな室内遊びを通じ感覚（視覚、聴覚、触覚、固有覚）等を養えるように支援していきます。 ※制作活動をすることで集中力や手先の使い方、目の動きと手の動きの協調運動、色彩感覚、考える力が持てるように支援していきます。 ※外に散歩に出かけ歩く、公園で遊ぶことで体幹を養い姿勢を維持し、バランスを取れるよう支援をしていきます。 | | | | | | |
| | 認知・行動 | ※空間や時間等の概念の形成を図ったり、絵カードなどの視覚支援を活用したりすることで、見通しを持った自主的な行動につなげます。 ※得意なことや苦手なことなどを自ら知る事で自己理解を深めます。 ※自らの気持ちや行動に気づいて調整しようとするなど適切な行動への対応を支援していきます。 | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ※自らの思いや要求を相手に伝えるよう、伝え方、場面、相手の状況に応じた適切なやりとりが出来るよう支援していきます。 ※プリントなど課題を取り入れ、理解や特性に合わせた読み書き向上のための支援していきます。 ※少人数での遊びでのコミュニケーション、トランプやカルタ取りなどのゲームを使い大人数でのコミュニケーションも取れる様に支援していきます。 | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ※活動目標のルールなどに応じて友達との集団遊びへの取り組みややりとりを通して適切な人間関係の形成を支援していきます。 ※他者の気持ちや意図を理解し、適切な行動をしたりするなど、社会に適應するために必要なライフスキルの獲得を支援していきます。 ※自分の感情や気持ちなどをコントロール出来るように情緒の安定を図り支援していきます。 | | | | | | |
| 家族支援 | | ※ご家族から家庭での様子や心配などについてお話を伺い、本人の特性を踏まえた関わり方の工夫を一緒に考える相談援助を行います。 | | | 移行支援 | | ※切れ目のない支援を目指し支援経過、支援方法など情報共有をすることで地域教育の後方支援を行います。 | |
| 地域支援・地域連携 | | ※利用する子どもが地域で適切な支援を受け、地域に居場所を持つことができるよう、関係機関と連携をしていきます。 ※自立支援協議会こども部会で地域事業所の連携を図っていきます。 | | | 職員の質の向上 | | ※外部研修の受講や事業所内研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図ります。 | |
| 主な行事等 | | ※カレーやおやつ作りなどの調理実習（長期休暇時） ※様々な事を経験出来る課外活動（長期休暇時） ※みんなでワイワイ水遊び&流しそうめん（夏休み時） | | | | | | |